

あまがさき産業フェア2023

リアルセミナー



舞い上がりモノづくりの町 東大阪
「事業共創化」のマーケティング&コミュニケーション

盛光SCM代表取締役
草場 寛子 氏

モノづくり日本会議関西地区研究会は、7月6~7日に兵庫県尼崎市で開催された「尼崎産業フェア実行委員会主催、近畿経済産業局、兵庫県、日刊工業新聞社西日本支社など後援」でリアルセミナーを開催した。モノづくり企業の自立成長や地域での共創に向けた取り組み、食農業界と自動機メーカーとのマッチング、金属加工業のデジタル変革(DX)戦略についての講演を行った。会場では大阪市や尼崎市などから訪れた来場者が熱心に耳を傾けていた。

強い中小企業づくり、スクラム型で貢献

3月末に放送を終えたNHKの朝の連続テレビ小説「舞いあがれ！」では、大阪府東大阪市の多くの町工場がストーリーづくりのため考証に携わった。当社では主にオープンファクトリーワークを扱うEBC（電子商取引）サイトが注文の急増でパンクした。売れるとは良いものの作つて、それを伝え初めて「売れる」ということを学んだ。前年のリーマン・ショックで取引先のブランドメーカーに頼れない状況になり「NEEL（ニール）」という自社ブランド立ち上げた。翌年1回開催している。そこで18年から東大阪は住民をつなぐベント「こーばへ行こう！」を年1回開催している。また、人材獲得や地域のプロモーションなどを手がける会社「COBA（こーば）」

も、つくづくの問題が課題となつて面白さを感じている。そこで、人材獲得や地域のプロモーションなどを手がける会社「COBA（こーば）」

も、つくづくの問題が課題となつて面白さを感じている。そこで、人材獲得や地域のプロモーションなどを手がける会社「COBA（こーば）」



Robots Town
代表取締役
白坂 純滋 氏

食品機械メーカーとユーザー 直接つなぐ



芝浦工業大学大学院
機械工学専攻 臨床機械
加工研究室 教授
澤 武一 氏

当社は「食品工場を働きたい職場アンバーワンにする」というビジョンを掲げ、四つの事業を開拓している。年間約120工場に自動化提案するほか、震電のプログラミングができる人材教育、工場のエンジニアリングができる人材教育、食品製造総農「FOOMA JAPAN」と連携してオンラインで食品機械を見られるサービスを行っている。食品工場の自動化の例として、ハムカツの全自动供給ラインを提案した。当初は顧客がロボットの導入を希望したが、搬送の前工程を合わせることでシャトルコンベヤーを活用してロボットなしでも自動化することができた。

当社は神戸市内に工場を持つ、自社で倉庫機械を製作している。倉庫を駆除させないと自動化はうまくいかない。段ボールを取り出したり開封して中身を取り出すという実績もあり、食品業界にはよく聞こえるが、やり切った人が勝つところを手がける製薬業の経営者たが、自分ではモノづくりができない。町工場は住民をつなぐベント「こーばへ行こう！」で実行力がある中小企業にチャンスがある。東大阪はラクビーの町で、スクラム型でワンランク上の企業を作るために頑張っていきたい。

DX（デジタル変革）は始まっている。ミスマガル（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工知能）、「DX（メビー）」は、画面を張り付けるだけで納期や見積もりを瞬時に表示してくれる。サービス開始約3ヶ月で500万件以上の画面データが集まると言わ

DX（デジタル変革）は始まっている。ミスマガル（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工知能）、「DX（メビー）」は、画面を張り付けるだけで納期や見積もりを瞬時に表示してくれる。サービス開始約3ヶ月で500万件以上の画面データが集まると言わ

DX（デジタル変革）は始まっている。ミスマガル（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工知能）、「DX（メビー）」は、画面を張り付けるだけで納期や見積もりを瞬時に表示してくれる。サービス開始約3ヶ月で500万件以上の画面データが集まると言わ

DX（デジタル変革）は始まっている。ミスマガル（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工知能）、「DX（メビー）」は、画面を張り付けるだけで納期や見積もりを瞬時に表示してくれる。サービス開始約3ヶ月で500万件以上の画面データが集まると言わ

DX（デジタル変革）は始まっている。ミスマガル（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工知能）、「DX（メビー）」は、画面を張り付けるだけで納期や見積もりを瞬時に表示してくれる。サービス開始約3ヶ月で500万件以上の画面データが集まると言わ

DX（デジタル変革）は始まっている。ミスマガル（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工知能）、「DX（メビー）」は、画面を張り付けるだけで納期や見積もりを瞬時に表示してくれる。サービス開始約3ヶ月で500万件以上の画面データが集まると言わ

DX（デジタル変革）は始まっている。ミスマガル（モノのインターネット）、ビッグデータ、AI（人工知能）、「DX（メビー）」は、画面を張り付けるだけで納期や見積もりを瞬時に表示してくれる。サービス開始約3ヶ月で500万件以上の画面データが集まると言わ

■モノづくり日本会議 主な行事

名古屋で次世代モノづくりシンポ

モノづくり日本会議中部地区研究会は名古屋産業人クラブ、日刊工業新聞社と共に、31日14時50分から名古屋市中区の名古屋東急ホテルで特別シンポジウム「みちしるべ 持続的成長へ次世代モノづくりを中部から デジタル変革(DX)による現場力向上と脱炭素化へ向けた新たな取り組み」を開く。OSG第2製造部の辻田典宏部長が製造現場におけるDXを活用した取り組みを紹介。千代田化工建設事業創造部事業デザインセクションの川井英司氏が究極の脱炭素技術として注目を集める合成燃料(e-fuel)について解説する。

EUのIoT機器セキュリティ最新事情

モノづくり日本会議は9月5日14時からオンラインセミナー「EUにおけるIoT機器セキュリティの最新事情」を開催する。欧州でIoT（モノのインターネット）機器を販売するために、サイバーセキュリティ対策が不可欠になったことから、EUは、無線指令(RED)、サイバーレジリエンス法(CRA)が要求しているサイバーセキュリティ対策の最新情報などについて解説する。講師はテュフ・ラインランド・ジャパンの貝田章太郎サイバーセキュリティサービス室長。事前登録制で参加無料。

第6回 100年企業顕彰 応募受付中 締め切り迫る!!

主催:100年経営の会 共催:日刊工業新聞社
後援:経済産業省中小企業庁(予定)、日本商工会議所、
全国商工会連合会

開催主旨

日本に数多い創業100年を超える長寿企業の経営理念に注目し、地域の他企業の範となる優れた企業を顕彰し、地域の雇用・税収などに貢献する優良企業を表彰することを目的に第6回「100年企業顕彰」を開催します。

これまで第4回までは中部、九州・沖縄、近畿、関東の地区ごとに、第5回は全国を対象に実施してきました。今開催も業種・企業規模にかかわらず優れた経営理念を掲げ、地域貢献の実績や未来に向けたビジョンを持つ全国の老舗企業を表彰します。過去にご応募、受賞された企業も応募の対象となります。

地域経済を支える役割を担っているか、新たな分野に挑戦し、市場を拡大しているかを審査し、最優秀賞には経済産業大臣賞(予定)のほか、各賞を授与します。

募集概要

募集期間:2023年8月31日(木)締切

表彰:経済産業大臣賞(予定)

(地域共創部門、事業革新部門)

中小企業庁長官賞(予定)

他数件を表彰します。

(※8月31日までに応募を表明された企業は、
応募申請書の提出期限を9月11日まで延長します。)



<https://100nen-keiei-no-kai.jp/100nen/>

(申請書は上記URLよりダウンロードできます)



応募申請書提出先・お問い合わせ先

メールの場合 100nen@media.nikkan.co.jp

郵送の場合 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 (日刊工業新聞社内)

(※当日消印有効) 100年経営の会 事務局 Tel 03-5644-7608